

健康マネジメント協会 会員 各位

このメールは、国土交通省の貸切バスに関する公開情報を元に作成し、
会員の皆様に配信しています。交通事故防止の取り組みにご活用ください。

★国交省公開情報(H29.12.8 第 430 号より)

●年末年始の安全総点検

年末年始は輸送機関に人流・物流が集中するため、ひとたび事故が起こると
大きな被害になってしまいます。

国交省では12月10日～翌年1月10日を「年末年始の輸送等に関する安全総点検
実施期間」として事業者に自主点検の実施を呼びかけています。

下記より自主点検表がダウンロードできます。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

●事故調査委員会の調査報告書の公表

事業用自動車事故調査委員会の調査報告書が公表されました。
平成27年7月4日の貸切バス横転事故(大分県別府市)について
紹介します。

<事故概要>

大分自動車道下り線の緩やかな右カーブにおいて、貸切バスが乗客13名を
乗せて走行中、スリップして道路左側の法面に乗り上げた後、横転した。
この事故により乗客4名が重傷、9名が軽傷を負った。

<原因>

運転者はあまり前方を気にしないなど不注意な運転をしていた。
前の車に接近していると気づき、慌ててブレーキをかけたが、ABSが
装備されていない車両だったため、タイヤがロックし、濡れた路面で

スリップしてしまった。

また、乗客がシートベルトをしていなかったことで被害が拡大した。

<対策>

①適切な安全教育の実施

- ・適性診断結果を使い、運転者の特性に応じた教育をする
- ・ABSの有無等、乗務する車両の特性に応じた教育をする
- ・路面が濡れている場合などに、状況に応じた運転と危険予知ができるよう、具体的な事例を交えた教育をする

②乗客のシートベルト着用を促す工夫

- ・運送開始時だけでなく休憩後の運行再開時にも着用を促す
- ・着用状況を目視で確認したり、着用の被害軽減効果を車内に掲示したりする

詳細は下記をご覧ください

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000330.html